

# 国連PKO 支援部隊早期展開プロジェクト RDEC

THE UN PROJECT FOR RAPID DEPLOYMENT OF ENABLING CAPABILITIES



第758号  
令和元年12月5日

統率方針  
先進作戦集団として使命を完遂する。

要望事項  
一、国を守る気概  
一、即動・強靱  
一、チーム北海道

発行：北部方面隊総監部広報室



ウガンダ軍訓練生との別れ

北部方面隊（総監吉田陸将）は、11月21日、ウガンダ共和国に国連PKO支援部隊早期展開プロジェクトの教官団として派遣された第12施設群副群長藤堂2佐以下18名の帰国行事を実施した。

新千歳空港に到着した教官団一行は、総監、第3施設団長をはじめとする関係部隊

## ウガンダでの任務を完遂し、帰国

長、家族、同僚らの出迎えを受けた。引き続き南恵庭駐屯地で実施された任務完了報告会において総監は、ご来賓の方々のご臨席に感謝の意を表すとともに、団員に対して「3か月の長期にわたる厳しい過酷な任務であったが、それを見事にやり遂げてくれた。そして、1件の事故もなく元気

に全員がここ北海道に帰ってきてくれたことに、藤堂団長以下18名一人ひとりに心から敬意を申し述べたい」とその労をねぎらった。

また、ウガンダに對して日本への大きな信頼を残してくれたことが最大の成果である」と貢献をたたえた。

さらに、ご家族に對

しては、ご家族が不在で大変寂しい思い、また、心配をおかけしました。ご家族の誇りをかけておりましたが、隊員達を家族の誇りに思っており、寂しさを抑え、3か月を埋めるような時間を過ごしたいだけだと思っております。この間、お支えいただきました。ありがとうございます。ご苦労に對して感謝の念を伝えました。

教官団は、8月26日から11月19日までの間、ウガンダ軍工兵要員31名に對し、建設機械の取扱要領等に関する学科や作業実習を実施し、国際平和協力活動に貢献する人材の育成に寄与して、その任務を終了した。



駐屯地での出迎え



家族との再会

## 派遣を終えて 隊員の声

教官団長  
第12施設群副群長  
2等陸佐 藤堂 康次



今回の国連PKO支援部隊早期展開プロジェクト（アフリカ）は、ケニアにある訓練施設にアフリカ各国から工兵の学生を集めて教育するやり方から、教育受講を希望する国に教官団が派遣される初のケースとして、我々がウガンダ共和国に派遣されました。国連もウガンダ軍も我々も初めての経験で調整等に苦労する中にも、初めからの訓練場の泥濘化と器材の故障に悩まされたにもかかわらず、皆様の協力により無事31名の学生を育成することが出来、最後にウガンダ軍から短期間で技能を向上させた日本の教育は素晴らしいという評価をいただき、約3ヶ月間の苦労が報われた瞬間でした。

統括教官  
第12施設群第400施設中隊  
2等陸尉 中上 聡



3ヶ月にわたるウガンダでの教育が終了しました。今回の教育では、31名の学生に對して教育し、学生から感謝の言葉を頂きました。教育中は、雨に悩まされた。言葉の壁に戸惑い、手探りな教育でしたが、教官団としても学生としても満足いく教育となったと感じています。最後に、派遣間に我々を支援してくださった方々に感謝を申し上げます。

通訳陸曹  
北部方面ヘリコプター隊第1飛行隊  
2等陸曹 武藤 晃太



今回のRDECに、通訳要員7名の内の1人として参加させて頂きました。派遣当初は、日本とアフリカの英語の発音やアクセント等の違いで言葉が伝わり辛く、両国ともに戸惑いましたが、次第に順応し、教育の最後に「日本の教育は、素晴らしい」と言ってもらえた時に、今回のRDECに参加できて本当に良かったと感じました。

## 令和元年 台風19号に伴う災害派遣

### 派遣全部隊が無事に北海道へ

北部方面隊は、10月14日から台風19号による災害対処のため、入浴支援等を実施する北方多目的支援隊及び道路啓開・災害廃棄物の撤去等を実施する北方第1・第2施設支援隊並び

に増強幕僚・連絡要員として約810名の隊員及び約285両の車両を総監部、各師団・旅団及び方面直轄部隊等から派遣中であつたが、災害復旧の進捗に合わせた派遣態勢の見直しに



北海道へ向け前進

は、福島県郡山市、いわき市、相馬市、南相馬市及び新地町において活動し、延べ17日間約15,600名の住民に對する入浴支援を実施した。

また、北方第1・第2施設支援隊は、宮城県丸森町、福島県いわき市、須賀川市、石川町等において活動し、12日間で延べ約650mの道路啓開、約3,160m<sup>3</sup>の災害廃棄物の運搬等を実施した。

被災者からは、自衛隊の活動に對して幾度となく感謝の声が寄せられ、部隊が出発する際には、多数の住民が見送りに訪れた。北部方面隊は引き続き即応態勢を維持しつつ、各種事態等への対応に万全を期す。



入浴支援



災害廃棄物の運搬



# 令和元年度協同転地演習等への参加

## 協同転地演習・鎮西演習・自衛隊統合演習



西方への海上機動(第2師団)



基地警備訓練(第5旅団)



重要防護施設警戒訓練(第2師団)

### 協同転地演習

第2師団及び第5旅団は、各種計画等に基づき海上機動による西部方面区までの長距離機動展開に引き続き、大矢野原演習場及び霧島演習場等

において島嶼防衛を想定した部隊訓練等を実施した。第2師団からは第3普通科連隊を基幹とし、第2特科連隊、第2後方支援連隊、第2

施設大隊、第2通信大隊、第2偵察隊及び第2飛行隊が訓練に参加し、将来体制を踏まえた連隊規模の訓練を実施するとともに、第5旅団から

は第6普通科連隊を基幹とし、第5特科連隊、第5後方支援連隊、第5戦車大隊、第5施設隊及び第5通信隊、第5高射特科中隊が訓練に参加し、部隊訓練及び中隊訓練検閲等を実施して、事態対処能力の向上を図った。

方面隊は、10月24日から11月27日までの間、西部方面区等において令和元年度協同転地演習を実施するとともに、西部方面隊が担任・実施する鎮西演習及び統合幕僚監部が計画する自衛隊統合演習に参加した。  
各演習には、第2師団、第7師団、第5旅団、第1特科団、第1高射特科団、第3施設団、北部方面後方支援隊、第1電子隊、北海道補給処及び自衛隊札幌地方協力本部が参加し、各種計画等に基づく部隊等の行動を演練して、抑止及び対処の実効性の向上を図った。



航空自衛隊との協同基地警備訓練(第7師団)



衛生訓練(第5旅団)



統合輸送訓練(北部方面後方支援隊)

### 自衛隊統合演習

第7師団及び第5旅団は、航空自衛隊と協同して航空自衛隊基地において、各種計画に基づく協同基地警備訓練及び指揮所訓練を実施し、航空自衛隊との連携要領について確認した。

また、北部方面後方支援隊は、統合輸送訓練に参加し、函館港から大分港までの海上機動及び大分港から八戸までの陸路を長距離機動した。さらに、第5旅団は、治療施設の開設・運営訓練に参加し、医务室を活用した衛生支援要領について訓練したほか、第1特科

団が、西部方面隊及び海・空自衛隊との協同訓練に参加するとともに、第1電子隊が、陸海空の電子戦器材を活用した妨害訓練に参加する等、各種事態への対処能力の維持・向上及び計画の実効性の向上を図った。

### 鎮西演習



水際障害構成(第3施設団)



対空作戦(第5旅団)



兵站訓練(北海道補給処)

第3施設団は、島嶼守備部隊の作戦と連携して、島嶼における施設調整所を開設・運営するとともに、海岸部における水際障害構成訓練に参加し、94式水際地雷敷設装置を使用した地雷敷設訓練を実施して、水際障害構成能力の向上を図った。  
また、第2師団、第5旅団及び第1高射特科団は、対空作戦に特科団は、対空作戦に参加し、対空作戦のための組織を広域に展開し、対空戦闘組織の構成・維持を行うとともに、各部隊協同による実機を用いた対空戦闘を実施し、対空作戦能力の実効性を向上させた。  
さらに、第2師団、北部方面後方支援隊及び北海道補給処は、兵站施設の開設及び維持・運営等の訓練に参加し、西部方面隊が開設する方面兵站基地の開設・運営を協同で実施する等、兵站運用の実効性の向上を図ったほか、自衛隊札幌地方協力本部は、予備自衛官を招集訓練に参加させ、被拘束者及び戦没者の取り扱いに関する訓練を研修する等、識能の向上を図った。



# 職種等強化施策(特科)

## 方面隊の領域横断作戦を練成

方面隊は、11月17日から28日の間、矢白別演習場において、職種等強化施策(特科)を実施した。本訓練は、第1特科団長(片岡将補)を担任官として、師団等の陣地防衛の場、領域横断作戦における電磁波を含む情報と火力の連携及び情報収集部隊との情報共有情報処理要領の確立に係る練度を向上させることを狙いとして、各地対艦ミサイル連隊、各特科群、第301観測



情報収集調整会同



レーダーによる敵情解明



実弾射撃

また、統裁部長補佐として1等陸佐予備自衛官が招集され、18日から24日の間訓練に参加した。さらに、本訓練に併せて部隊実験が行われ、「宇宙サイバー、電磁波環境下における陸上自衛隊の作戦」に係る電磁波領域と連携した地上火力の運用に関する評価・分析業務を教育訓練研究本部及び関係学校が実施した。

中隊、第1特科団本部、第2特科連隊、第7特科連隊、第5特科隊、第11特科隊、第3施設団、北部方面航空隊、北部方面後方支援隊、北部方面通信群、北部方面情報隊、第1電子隊及び情報教導部隊をそれぞれ、訓練部隊、対抗部隊、支援部隊に区分して実施した。

赤部隊(第2特科連隊、第1特科群)の射撃に伴い、青部隊の情報収集部隊(北部方面航空隊、第1電子隊、北部方面情報隊、情報教導隊)が電波標定観測等により各種情報資料を収集、合同調整所で処理した情報に基づき、方面特科火力(各特科連隊等)により、対抗射撃を実施した。

### 令和元年度 方面隊戦車射撃競技会



小隊戦闘射撃

方面隊は、10月27日から11月3日まで、北海道大演習場、北地区第1及び第2戦車射撃場において、令和元年度方面隊戦車射撃競技会を実施した。本競技会は、各師団及び各旅団の戦車部隊並びに第7偵察隊の戦車射撃能力の向上を図ることを目的に、方面隊と第7師団

### 令和元年度 警察との共同訓練



警察先導下での緊急輸送訓練

第2師団(師団長 森下陸将)は、旭川駐屯地及び近文台演習場において、令和元年度警察との共同訓練を実施した。



共同検問訓練 自衛隊から警察への武装工作員引渡し

本訓練には、第2師団から第26普通科連隊(連隊長 吉川一佐)が、北海道警察から旭川方面本部警備課の要員がそれぞれ参

加した。警察先導下の部隊移動における連携要領、重要防護施設に至る主要経路上での共同検問要領、検問の強行突破を図る武装工作員への対処要領及び武装工作員の警察への引き渡し要領を一連の引況下で実施した。また、訓練終了後には研究会が実施され、連携要領及び武装工作員への対処要領について意見交換し、警察と自衛隊相互の認識をさらに深めるとともに、共同連携要領の実効性を向上させた。

今後、各部隊が北海道警察との共同訓練を実施し、相互連携要領を演練する予定である。

- #### 競技会結果
- 【部隊対抗の部】  
 優勝 第2戦車連隊  
 準優勝 第71戦車連隊
- 【中隊対抗の部】  
 (90TKの部)  
 優勝 第2戦車連隊3中隊  
 準優勝 第73戦車連隊5中隊  
 (10TKの部)  
 優勝 第71戦車連隊1中隊  
 準優勝 第2戦車連隊4中隊
- 【小隊対抗の部】  
 (90TKの部)  
 優勝 2戦車3中隊1小隊  
 準優勝 71戦車5中隊2小隊  
 第3位 72戦車1中隊2小隊  
 第4位 73戦車5中隊1小隊  
 第5位 71戦車4中隊1小隊  
 第6位 72戦車4中隊2小隊  
 (10TKの部)  
 優勝 71戦車1中隊2小隊  
 準優勝 2戦車4中隊1小隊  
 第3位 71戦車1中隊1小隊  
 戦車直接支援部隊の部)  
 優勝 2戦車2中隊  
 戦車直接支援中隊



10式戦車のネットワークを使用した射撃

## 令和元年度演習場秋季定期整備

### 計画的に訓練基盤を充実し、道場化を推進



火砲陣地拡張のための伐採(矢白別演習場)



第1戦車射場の整備(北海道大演習場)



機動路の新設(然別演習場)



道路付帯設備の整備(上富良野演習場)

方面隊は、10月23日から11月1日まで、上富良野演習場及び鬼志別演習場において、11月6日から15日までの間、北海道大演習場、矢白別演習場及び然別演習場において、令和元年度北部方面隊演習場秋季定期整備を実施した。

開始に先立つ総監訓示では、「計画的に訓練基盤を充実させ、道場化を推進せよ」、「災害派遣中のため、優先順位を定め、隊力及び機械力を効率的に運用せよ」、「基本基盤を徹底し、安全管理に万全を期せよ」の3点を要望した。

本演習場整備では、長期構想・中期計画に基づき、機動路新設、射場の整備及び未活用地の樹木等の伐採等といった演習場の機能を拡充する「充実整備」を大きな柱として、併せて傷んだ道路の補修及び排水設備の補修等、演習場の機能を維持する「維持整備」を実施し、陸上自衛隊全体の作戦運用の効率的向上に資する訓練基盤を充実させ、道場化を推進した。





札幌市中心部でのパレード演奏



国歌吹奏

第5音楽隊(隊長 榎引2尉、24名)及び第7音楽隊(隊長 下野17尉、10名)は、11月17日、札幌市内において、天皇陛下の御即位奉祝道民の集いパレードに、多数の来場者が訪れた。パレードは市内中心部を巡行し、国歌吹奏を行いました。パレード終了後、加者とともに天皇陛下の御即位を祝した。

# 天皇陛下御即位奉祝道民の集い



## 第8期方面隊オピニオンリーダー 堀岡 咲枝

平成30年4月より第8期オピニオンリーダーの大役を拝命し、はや2年目となりました。隊員の皆様には日々、厳しい訓練を重ね、非常時対応・国防というお役に私たち国民を守っていただき感謝の思いです。

同年9月6日、北海道胆振東部地震が発生し、その時に予定されておりました例会は会場が変更となって、指揮命令の場を拝見できる機会をいただきました。人的・建物被害、ライフラインの状況、通信等々、人命に関わる情報が現地より刻々と本部に寄せられ、緊張感を持って当たられている方々のお姿を目の当たりにし、情報・指揮の重要性に身が引き締まる思いでその場におりました。貴重な体験をさせていただきました。

同年8月、『富士総合火力演習』見学の際には、国内外の国防に関して起こり得る問題解決という課題に沿って、最先端の統制が取れた訓練内容を拝見させていただきました。

また、令和元年10月14日に予定されておりました『観艦式』は、台風19号の被害を受けた方々への配慮にて中止となったことから、『見学会』として『護衛艦いずも』をはじめ勇壮たる日本の技術を見学させていただく機会となり、平和主義の下に装備されたその凄さに驚きと共に安心感を覚えました。長期にわたる海上での活動に耐え得る強靱な精神力と集中できる体力。各国との共同訓練時交換される盾が誇らしげに見えました。長い航海の後に艦船を整備し備えていく造船所が国際的に必要な地域もこれから出てくるのではないのでしょうか。

このほかにも、千歳、札幌の創隊記念行事に参加させていただき、総監をはじめ、各部隊のリーダーとの交流を通して、自衛隊の皆様がご尽力されていることや、ご苦労のお話を伺っております。

留守宅を預かるご家族の支えにも感謝しつつ、今後も皆様のお力により国民が守られていることを、これからも微力ではありますが、道民の方々へお伝えしていきたいと思っております。

【アトリエテッラ株式会社代表取締役会長】



### 北部方面音楽隊

## 第24回室内楽演奏会のお知らせ

### Army Sounds

～ 小編成による洗練された響き アンサンブルの饗宴～

**2020年1月31日(金)**  
開場 18:00 開演 18:30

札幌コンサートホールKitara 小ホール  
札幌市中央区中島公園1番15号

**入場無料 全席指定**

お問い合わせ先 北部方面音楽隊 演奏会係  
TEL 011-581-3191 内線 3337

### お申し込み方法

記入例を参考に必要事項を記載の上、お申し込みください。

**往復はがき1枚で1席分となります。** **12月13日(金)必着**

#### 記入例

〒005-8543 札幌市南区真駒内17番地  
北部方面音楽隊 演奏会係 行

こちらの面には何も記入しないでください。

① 演奏会名  
② ご住所  
③ ご氏名  
④ 年齢  
⑤ お電話番号  
⑥ その他ご希望等  
※ 車椅子のご使用(お付き添いの方も別途お申し込みが必要です。)  
※ 連席を希望される相手方のご氏名(同時投函で相互にお申し込みが必要です。)

※2019年10月1日より郵便料金が改定されています。料金不足のハガキは受け取ることが出来ませんのでご了承ください。

**返信は2020年1月17日(金)以降とさせていただきます。**

応募多数の場合は抽選とさせていただきます。  
また、お申し込みが重複された場合は無効とさせていただきます。

**ご注意事項**  
○ インターネットでの応募は受け付けておりません。  
○ 小学校入学前のお子様のご応募はご遠慮願います。  
○ 記載事項の記入漏れ等により返信できない場合がございます。

**個人情報のお取り扱い**  
ご記入いただきました個人情報は、お申し込みに関して問合せが必要な場合・返信の目的にのみ利用させていただきます。  
また、正確なご記入がない場合、お申し込みいただけない場合がございます。  
その他の目的で第三者に提供することはありません。

## 2019年度自衛官等募集案内

募集種目	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。	合格発表日は試験日にお知らせします。
陸上自衛隊 高等工科学校 生徒	11月1日 ～ 2020年 1月6日	1次：2020年 1月18日 2次：2020年 1月31日 ～2月3日	1次：2020年 1月24日 最終：2020年 2月14日
貸費学生	11月1日 ～ 2020年 1月6日	2020年 1月25日	2020年 4月24日

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



函館地方協力本部  
0138(53)6241



帯広地方協力本部  
0155(23)5882

## ～心の健康相談室～

### 人生に潤いを与える言葉

第202回

**君子は安きに居りては、  
宜しく一心を操りて以って慮るべし。  
変に処しては、当に百忍を堅くして  
以って成るを図るべし。**

(「菜根譚」前集・117)

即ち、物事の道理をよく心構えた人は、順境な安楽な時にこそ、心を引き締めて後の患難に備える覚悟を持たなければならない。

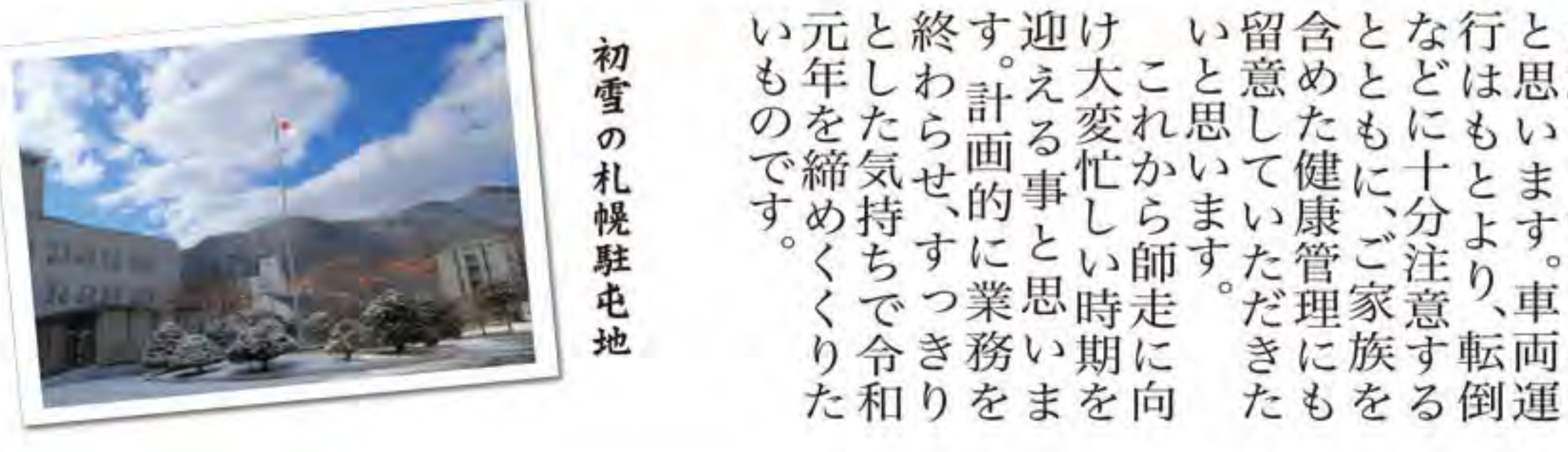
また、予期せぬ逆境の苦しい時には、不撓不屈の信念で成就するよう務めなければならないのです。

つまり、「順境の時こそ、心を引き締めて」また「急変の時には一心不乱で」対処しなければならないのです。

心の健康相談・カウンセラー  
**根本和雄**

**自衛官候補生の採用は  
18歳から32歳までです**

**隊員自主募集情報は部隊等担当者まで！**



北海道は平年より遅く初雪が降り、本格的な冬の訪れを迎えた。約10日ほど遅く、初雪の便りが届き、本格的な冬の訪れを迎えた。約10日ほど遅く、初雪の便りが届き、本格的な冬の訪れを迎えた。約10日ほど遅く、初雪の便りが届き、本格的な冬の訪れを迎えた。

### 編集後記